

国生み神話が残る島 「沼島」



▲勾玉の形をした沼島（上空から）

わかまち ふるさと資源

(21)

沼島は、淡路島の南海上、約4kmの紀伊水道に浮かぶ周囲10km、面積2・73km²の島です。日本最古の書物「古事記」の「国生み神話」の舞台であるといわれています。

勾玉の形をした島には、上立神岩などの奇岩や岩礁、断崖が連なり、自然景観からも神話の舞台を感じさせてくれます。島の山上には、神話に登場する伊弉諾尊と伊弉冉尊を祀る自凝神社があり、1億年前の地球のしわと言われる「さや状褶曲岩」や県下最古の「沼島庭園」などの名

所旧跡もあります。

5月4日には、「沼島春まつり」が行われ、勇猛さを競い、次々とだんじりが海に入ります。

また、これから旬を迎える沼島近海で獲れる鱧は、夏の味覚として有名です。近郊の速い潮流と生息地の泥が質の良い鱧を育てます。

沼島紹介DVDを製作

南あわじ市や地元住民らでつくる「国生みツーリズム実行委員会」では、沼島や国生み神話を紹介して観光客を呼び込むと、沼島の観光パンフレットや地図の製作、現地での観光看板の設置などを行っています。

このたび、沼島の魅力を映像でまとめたDVDを製作。島内の旅館やホテルなど関連施設へ配布されました。事務局 ☎22・0742

ぼくとわたしの ギャラリー

春の火災予防運動 防火ポスターコンクール (淡路広域消防事務組合)



優秀賞

山内美月 (沼島)



▲国生みツーリズム実行委員会が製作した紹介パンフレットとチラシ、DVD

わかまち 元気

子どもと高齢者に「夢と癒し」を！

読み聞かせ教室 ピノキオの会

ピノキオの会は、絵本のお話を通じて子どもと高齢者に「夢と癒し」、そして会員の「和と輪」を大切に活動をしているボランティアグループです。

昨今、子どもたちの「言葉の遅れ」「本離れ」が問題になっています。更に両親が勤めを持ち、家族の団らんという大切な時間にしわ寄せがきて、ゆっくりと大人に絵本を読んでもらう機会が乏しくなっています。子どもたちはみんな絵本との出会いを待っています。

一方、高齢者の方は遠い昔、聞いて・聞かせて暮らしてきた絵本に接すると、気持ち癒され、やさしいお顔になります。

そこで、私たちは絵本を携えて、子どもや高齢者の集いの場所へ出向き、出前「お話し会」を開いています。「お話し会」を通して、絵本の楽



▲子育て学習センターでの読み聞かせ

しさを知ってもらい、創造力豊かに、毎日を笑顔で暮らして欲しいと願っています。

市民へのメッセージ

「ピノキオの会」の趣旨に賛同され一緒に活動できる仲間を待っています。

子どもたちとふれあい、元気のパワーを分けてもらいましょう。高齢者の方から生き方を学びましょう。

読み聞かせ教室 ピノキオの会	
◆会長	田丸恵子 (☎36-5285)
◆会員	男女20名
◆活動	毎月第2木曜日